

留学レポート

鶴房賢弥

交換留学も残すところあと約2週間少となりました。そこで、前回レポート以降からの一ヶ月を振り返ってみようと思います。

1. 学習面

今学期に受講している4つの授業の中では、**Political Science**の授業を一つ選択しています。具体的な授業名としては、“**International Relation**”という名で、世界の経済から政治を主に扱い、教授がひたすら大人数の前で授業を行う講義形式となっています。毎回20ページほどのリーディング課題が出され、それらを基にテストも実施されています。しかし、この授業で興味深いところは、“日本”という国をこれまでとは違った観点で学べる点です。世界の経済の中でどのように日本という国が影響を及ぼしているのか、また他国との比較をしながら、日本がいかに発展した国かということもこの授業では大きく感じたことの一つでした。また、教授はパワーポイントなどの電子機器を一切用いず、黒板とジョークをたまに交えた古典的な授業形式であり、そのため、教授の話す内容に耳を忠実に傾け、50分間集中することが、授業を理解する上で必須となっています。

2. 生活面

フロリダは、比較的温帯な気候であると同時に、急なスコールが多いことでも有名です。現地に住む大学生たちによると、6月から7月にかけての時期がピークで、数時間ほどの急激な雨に覆われるようです。しかし、4月の上旬でも稀に授業の教室から出ると短時間の急激な雨に遭遇したことが数回ほどありました。なので、ぜひ折りたたみ傘だけでなく、雨を弾くようなジャケットを持参しておくと思えます。

3. その他

個人的な話にはなりますが、私の叔母が仕事の休暇を利用して、1人で3月の下旬にゲインズビルまで来てくれました。関西国際空港から成田空港、成田空港からアトランタ空港、そしてさらにアトランタ空港から最終的にゲインズビル空港という三度の飛行機の乗り換えを行わないといけなかったため、ゲインズビルにたどり着くまでいかに大変であったかということも叔母だけでなく自分自身も実感しました。主に、大学内や大学にあるジム、そしてスタジアムを散策し、フロリダ大学のキャンパス内を散策し、私が太鼓判を押すハンバーガーショップの“**Relish**”にも行くことができました。本場のハンバーガーはやはりサイズが比較的大きいものの、50歳近い叔母も本場のハンバーガーを堪能してくれました。その後、一週間の滞在を経て、無事に日本に帰国してくれました。

- 1枚目は、叔母がフロリダ大学に来てくれた際の写真です。
2枚目は、春休みに行ったマイアミにあるマッスルビーチの様子です。

